



DA VENIAM SCRIPTIS QUORUM NON GLORIA NOBIS
CAUSA, SED UTILITAS OFFICIUMQUE FUT

報道関係者各位
プレスリリース用

2015年6月24日

石綿および石綿関連疾患のグローバルヘルスの側面に関する コレギウムラマツィーニによる公式ポジションの公表

本国際学術団体による第18回声明は、石綿のすべての採掘、製造、使用の禁止を求める長年のポジションを改めて確認する。

コレギウムラマツィーニ ([Collegium Ramazzini](#), 以下CR) は、環境医学、産業保健分野の専門家からなる35カ国180名の科学者が所属する国際学術団体として、今般、石綿および石綿関連疾患(ARD)のグローバルヘルスの側面に関する公式声明を発表する。

石綿は科学的にがんを起こすことが証明されており、世界保健機関(WHO)傘下の国際がん研究機関(IARC)によっても確実なヒト発がん物質であることが認定されている。1993年以降、コレギウムラマツィーニは石綿のあらゆる採掘、製造、使用の世界的禁止を訴えてきた。最も広く用いられるクリソタイルを含むあらゆる種類の石綿が、中皮腫や肺がんを引き起こし、曝露の安全閾値がないという科学的証拠に基づき、コレギウムはこの立場をとり続けている。コレギウムはクリソタイルを含むあらゆる種類の石綿の採掘と使用を禁止することが責任ある公衆衛生上の行動であるという従来の立場を再確認する。本声明は石綿およびARDのグローバルヘルス(国際保健)的側面に初めて焦点を当て、CRによるこれまでの声明をアップデートする。

世界中で石綿の職業性曝露により毎年10.7万人の人が死亡していると推定される。これらの死亡は石綿関連肺がん、中皮腫、石綿肺症によるものである。石綿を禁止した国、また使用を続ける国においても多くの労働者が曝露によりARD、特に肺がんと中皮腫に罹患するリスクを抱えている。過去に曝露した人のほとんどは健康のモニタリングを受けない。コレギウムは各国に対して、過去から現在にかけて石綿に曝露した労働者を同定し、曝露量を評価して登録すべきこと、さらに、健康状況のサーベイランスと二次予防(早期発見・早期治療)を実施するための方策を講じるべきことを勧告する。労働者が家庭に石綿を持ち帰る可能性がある場合には家族のモニタリングも検討されてよい。

ARDの流行はほとんどの先進国では最低十年間、途上国では数十年間はピークアウトすることはない。石綿とARDは産業医学や公衆衛生、さらに臨床研究や臨床の前線でも課題となり続けるため、今

やグローバルヘルスの課題として浮上している。既に先進国の中で石綿禁止に移行した国においては、多くの教訓、ノウハウや経験が蓄積されているが、それらを今まさに石綿禁止に移行しようとする途上国で活用する意義がある。すなわち先進国が培った経験や技術を資産として活用し、ARD 根絶のためのグローバルキャンペーンを通じて多くの国と共有を図るべきである。

コレギウムラマツィーニのフェローで、北九州市の産業医科大学の高橋謙教授（産業生態科学研究所環境疫学担当、産業保健分野の WHO 指定協力機関代表）は「ARD を減らすための最優先事項は一次予防、すなわち未だ使用が合法的な国では石綿使用の禁止と既に禁止した国では残存石綿に対する曝露防止である」と述べている。

コレギウムラマツィーニの会長で、ニューヨークのマウントサイナイ医科大学医学部のグローバルヘルス学部長兼予防医学部主任教授のフィリップランドリガン教授は「ARD は百パーセント予防可能な疾患であることから最終的には ARD の新規発生ゼロを目指さなくてはならない。現在の ARD のパンデミックは公衆衛生分野にとっての喫緊の国際的課題である」と述べている。

石綿および石綿関連疾患のグローバルヘルスの側面に関する声明はコレギウムラマツィーニのウェブサイト参照されたい：www.collegiumramazzini.org

コレギウムラマツィーニの関連の声明は以下の通り：

石綿の世界的禁止を求める声明：改訂版（2004 年）

[http://www.collegiumramazzini.org/download/11_EleventhCRStatement\(2004\).pdf](http://www.collegiumramazzini.org/download/11_EleventhCRStatement(2004).pdf)

石綿の世界的禁止を求める声明（1999 年）

[http://www.collegiumramazzini.org/download/6_SixthCRStatement\(1999\).pdf](http://www.collegiumramazzini.org/download/6_SixthCRStatement(1999).pdf)

発がん物質としてのクリソタイル（1993 年）

[http://www.collegiumramazzini.org/download/3_ThirdCRStatement\(1993\).pdf](http://www.collegiumramazzini.org/download/3_ThirdCRStatement(1993).pdf)

コレギウムラマツィーニは産業医学・環境医学の重要課題を検討し、疾病予防と健康増進に寄与することを旨とする国際的な学術団体である。コレギウムは「産業医学の父」と称され、1700 年代にモデナ、パドヴァ大学で医学の教授であったベルナルディノ＝ラマツィーニの名を冠している。コレギウムを構成するのは選出会員からなる世界の名だたる臨床医・科学者 180 名である。本会は商業的利害関係を排除している。

連絡先：

Collegium Ramazzini

Kathryn Knowles

collegium@ramazzini.it